

## 2018-19 Building the TOMODACHI Generation” (略称 BTG)

*Engaging U.S. and Japanese University Students in Social Problem-Solving*

### 参加学生募集要項

#### 1. プログラム概要

2013 年度に開始したワシントン DC における次世代人材育成プログラムである BTG は、米国大使館が実施する TOMODACHI Initiative の正式プログラムに採択されており、日米研究インスティテュート (USJI) とワシントン DC の The Washington Center (TWC) が共催しています。

日米の大学生 (日本人は USJI 連携大学から合計 12 名が参加、米国からは TWC が選考した 9 名が参加) がリーダーシップ、異文化交流、社会問題に対する解決策などを学ぶことに加え、様々なセクターのリーダーとのディスカッションや参加者同士のコミュニケーションを通じて、国内外を問わず活躍できる TOMODACHI 世代のリーダーとしての能力を育むことを目的としています。

- 日米両国の市民社会の役割と機能を理解すると同時に、市民社会が果たす社会問題の解決策についてのコンセプトを理解する。
- 日米両国の学生がチームとして学習、実習を行いチームワークと協働する力を育み、長期間におよぶ東北地域復興支援や市民社会強化のために産官学のセクターを超えたイニシアチブやプロジェクトを計画する。
- チームビルディング、ディスカッション、ワークショップなどの活動を通じ、異文化理解、リーダーシップ、スピーチ、社会的責任、イノベーション、問題解決能力、批判的思考力、コミュニケーション、ネットワークなどのグローバルで活躍するために重要なスキルを修得する。

なお、プログラムスポンサーであるモルガン・スタンレー社から支援を受けて実施しています。

参考：過去の参加学生の活動記録 <http://www.us-jpri.org/category/btg>

#### 2018 年度募集プログラム概要 (場所・期間・経費)

- (1) 場 所：米国ワシントン D. C.
- (2) 期 間：2019 年 2 月 15 日 (金) ~ 3 月 4 日 (月) (予定)  
(※15 日 成田出発前日ホテル宿泊、翌 16 日 成田から出発)
- (3) プログラム詳細

以下資料をご参照ください。なお、日程については若干の変更の可能性があります。

- プログラム案内 (英文)
- BTG Morgan Stanley Ambassadors Program One Pager\_2019

#### (4) 経 費

##### ① プログラムが負担する経費

- ・ 成田空港～ワシントン D. C. ダレス国際空港 往復国際航空賃

※参加者は他の参加者全員と同一フライトで往復しなければならない。プログラム前後に米国内の移動・旅行等は不可。

- ・プログラム期間中の宿泊費
- ・プログラム期間中の食費
- ・米国内交通費

※簡易海外旅行損害保険料参加者はこの保険とは別に所属大学のリスクマネジメントポリシーに従った海外旅行保険(居住地出発日から居住地に戻る日までの期間を保障した保険)への加入が必須。

## ②参加者が負担する経費

- ・日本国内交通費  
※但し、九州大学・同志社大学・京都大学・立命館大学の学生についてはワシントン到着後、TWCより一定額の補助金が支給されます。
- ・ホテル宿泊において発生する宿泊費以外の個人的経費（電話、ミニバー、クリーニング等）
- ・ホテル・超過荷物輸送料（航空機）
- ・パスポート取得費、ESTA取得費等
- ・その他（個人の土産代等）

## 2. 応募資格(以下のすべてを満たしていること)

- ① 正規生として同志社大学に在籍する学部生（1・2年生を優先）。全ての学科・専攻からの応募が可能。
- ② プログラム期間に大学に在籍していること。ただし、プログラム期間中に留学・休学予定の学生の応募は不可。応募・採用後にプログラム期間中の留学・休学が決定した場合は採用取り消しとなる。
- ③ 東北地域の復興に対し確固たる熱意のあること。社会的責任感のあること。
- ④ 日本国籍を保有していること。なお、応募時点ではパスポート所持は必須ではないが、参加が決まった段階で速やかに取得すること。

## 3. 応募条件

- ① 将来、東北地方の復興に寄与するなど、プログラム終了後も東北地方とのつながりを持ち続ける意志のある学生が望ましい。
- ② 英語でコミュニケーションができること。TOEFL iBT 75～80 相当が望ましい。
- ③ 2年生以上はGPA3.0～4.0が望ましい。
- ④ プログラム参加により、授業履修や研究指導等に支障がないこと。  
(学事や私用にかかわらず、プログラムの途中参加・離脱、行程の変更は一切不可)
- ⑤ 参加期間中の不慮の事故や疾病に備え、所属大学指定の海外旅行保険(居住地出発日から居住地に戻る日までをカバーしたもの)に必ず加入し、加入証明書を提出すること。その他、プログラム参加決定後には参加誓約書を、プログラム終了後には参加体験談を指定書式にて提出すること。
- ⑥ 応募者は、プログラム参加に伴い、氏名、所属大学・学部、学年の情報および発表資料や参加風景写真を、USJI および TWC のホームページや報告書等に掲載することに同意すること。
- ⑦ プログラム参加決定後、自身でパスポートとESTAを速やかに取得すること。

- ⑧ プログラム開始日が本学の秋学期試験期間と重複していることを確認した上で出願すること  
(プログラムと試験が重複した場合でも、特別措置等を講ずることは出来ないことを了承した上で出願すること)。

#### 4. 出願方法

以下の書類を提出してください。

##### (1) 提出書類

提出書類①は、データを国際課にメールで送信の上、印刷したものを提出書類②③④⑤と合わせて、国際課の窓口に出願すること。なお、⑤は任意のため提出しなくてもよい。

提出資料	書式	ファイル形式
① BTG プログラム申込書 (必須) 留意点： • メールアドレスは、参加決定後に TWC が参加学生と直接連絡を取る際使用します。頻繁にアクセス可能で、すぐに返信できるものを記載してください。	提出様式1	Word
② 英文履歴書 (CV) (必須)	自由、 A4 サイズ	PDF
③ 英文成績証明書 (1 年生以外は必須)	大学の様式	
④ 英語能力証明書のコピー (必須)	自由	
⑤ 推薦書 (任意) 留意点： • 学生の本プログラムへの適性など、推薦者の視点でご記載下さい。特に今までもしくはこれからの東北震災ボランティア・復興への活動について、アピールできる特記事項があれば、記載願います。	自由、 A4 サイズ	

(2) 提出先： 同志社大学国際課 ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp

(3) 提出締切日時: 2018 年 6 月 29 日 (金) 17 : 00 必着

#### 5. 同志社大学での選考方法

書類選考の後、通過者に対して面接試験を実施します。面接試験の結果、国際連携推進機構にて候補者を選出します。なお、面接は 2018 年 7 月 2 日～7 月 6 日の間で実施予定ですが、面接日時の詳細は出願締切後に個別調整します。

#### 6. TWC による最終選考と結果の通知

USJI 連携大学 8 校での候補者選出の後、TWC が全候補者より 12 名を選抜します。(各校から必ず 1～2 名が選抜されます。) 最終選考結果は、同志社大学から候補者本人へ連絡します。

なお、候補者は全員、TWC によるスカイプを使用した面接結果を合わせて総合的に選抜されます。TWC から、7 月中旬頃に面接についてのメール連絡が来ますので、直接調整の上必ず参加してください。

## 7. 個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て各大学事務局を通じて、USJI および TWC に提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は厳重に管理の上、USJI の運営活動目的以外には使用致しません。

## 8. 問い合わせ先

同志社大学 国際課 Tel : 075-251-3260 E-mail: [ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp)

以 上

\* The Washington Center for Internships and Academic Seminars(TWC)とは、1975年に設立された米国 NPO 団体で、米国をはじめとする世界の数百の大学の学生に、ワシントン DC で学習するためのチャレンジングな機会を提供しています。TWC のプログラムには毎年米国及び 45ヶ国以上から 1,500人以上が参加しており、これまでに計 50,000 人以上の参加者を輩出しています。TWC での経験を仕事のスキル向上や専門的かつ個人的なコネクションの形成、将来の目標設定等につなげることで、参加者の多くが世界のあらゆる分野においてリーダーシップを発揮し活躍しています。

URL: <http://www.twc.edu/>

\*日米研究インスティテュート(USJI)とは、2009年4月、ワシントン D.C.に設立した米国 NPO 団体で、政策提言型の研究活動の実施、セミナーやシンポジウムでの情報発信、幅広いネットワーク形成、人材育成等を主な活動内容とし、米国における日本のプレゼンスを向上させることを目的としています。連携大学として、九州大学、京都大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、同志社大学、立命館大学、早稲田大学の 8 大学が運営に当たっています。

URL: <http://www.us-jpri.org/>